

価格.comリサーチ『Windows 8』に関する調査結果**「Windows 8」、約 8 割がタッチパネル非搭載機で利用、操作性に不満も****タッチパネル搭載パソコン・タブレットの拡充が、普及拡大のカギ！？**

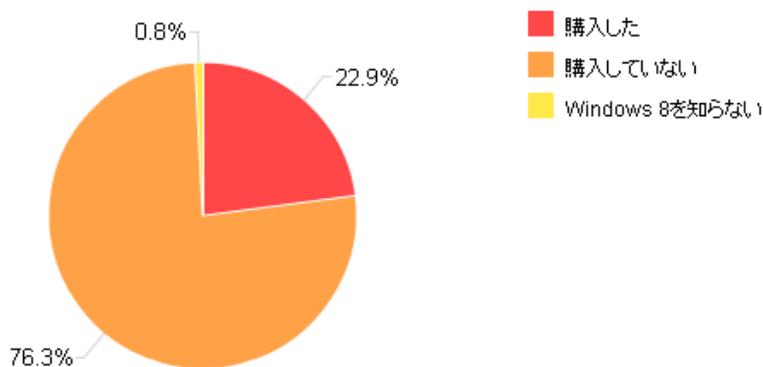
- ・発売後約 3 カ月の購入率 22.9%、約 6 割がアップグレード版を購入
 - ・「価格の安さ」(44.4%)が購入理由のトップに
- ・利用満足度、「満足」が 45.2%、「不満」が 42.3%と出足は低調
- ・「体感速度」は 75.3%が満足、「Windows ストア」「操作性」への不満が高い傾向に

URL:<http://kakaku.com/research/report/068/>

株式会社カカコムが運営する購買支援サイト『価格.com(<http://kakaku.com/>)』が実施したユーザーへの意識調査「価格.comリサーチ」より、第 68 回『Windows 8 についてのアンケート！-タッチパネル機能の反響は?-』の調査結果を一部抜粋の上、ご案内します。一部結果については、「Windows 7」の発売後に行った調査結果 (<http://kakaku.com/research/backnumber037.html>) と比較もしています。

Windows 8 の購入率：22.9%。Windows 7 調査時と比較し 7.1 ポイント低い結果に

「Windows 8」の購入率は 22.9%という結果。調査時点では、発売から 3 か月弱ということもあって、それほど高い割合とはなっていない。しかし、「Windows 7」の発売後に行った調査結果では、発売後約 2 か月で 30.0%が購入したと回答した。今回の調査時期は発売から約 3 か月後であるにも関わらず、「Windows 8」の購入率は「Windows 7」よりも 7.1 ポイントほど低いことになる。

【図 1. Windows 8 の購入率】**購入方法：バージョンは「Windows 8 Pro」(65.9%)、購入形式では「アップグレード版」(58.3%) が最多。発売記念キャンペーンの効果か**

「Windows 8」には、上位バージョンの「Windows 8 Pro」と下位バージョンにあたる「Windows 8」、さらに主にタブレット端末向けの「Windows RT」が存在する。このうち、購入バージョンを聞いたところ、意外にも、「Windows 8 Pro」(65.9%)が最多で、「Windows 8」は、ほぼ 3 分の 1 にとどまった。「Windows 8 Pro」の割合が高い理由としては、2013 年 1 月末まで行われていた発売記念キャンペーン(ダウンロード版で 3,300 円)が大きく寄与しているものと思われる。

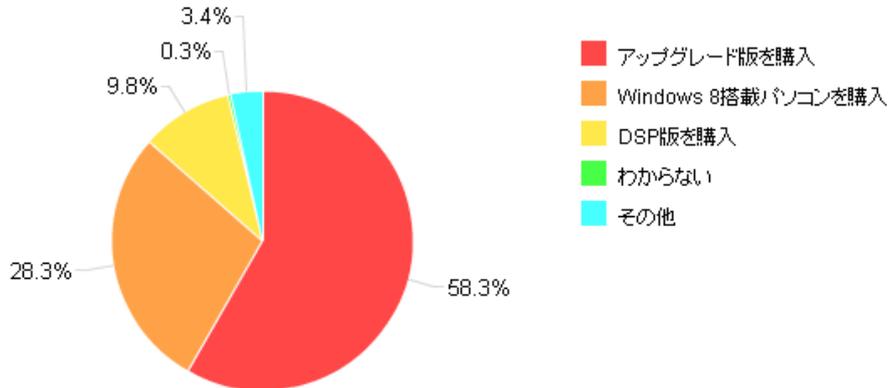
■【購入したバージョン】グラフ：<http://kakaku.com/research/report/068/index.html#mds02>

また「Windows 8」の購入形式に関する最多回答は、「アップグレード版」(58.3%)。これに「Windows 8 搭載パソコン」、最後が「DSP版 (自作PC用のクリーンインストールバージョン)」が続く。

「Windows 7」の調査結果と傾向は似ているが、「Windows 8」では、いわゆる「通常パッケージ版」が廃止されたことで、その他の割合が少しずつ高まっているようだ。

ちなみに、「Windows 8」発売前後には、前述の「Windows 8 Pro」発売記念キャンペーンと、2012年夏発売のWindows 7 搭載パソコンを対象にしたアップグレードキャンペーンが実施されていた。このことも「アップグレード版」の購入比率を高めた理由となっている。

【図 2. Windows 8 を購入した形式】

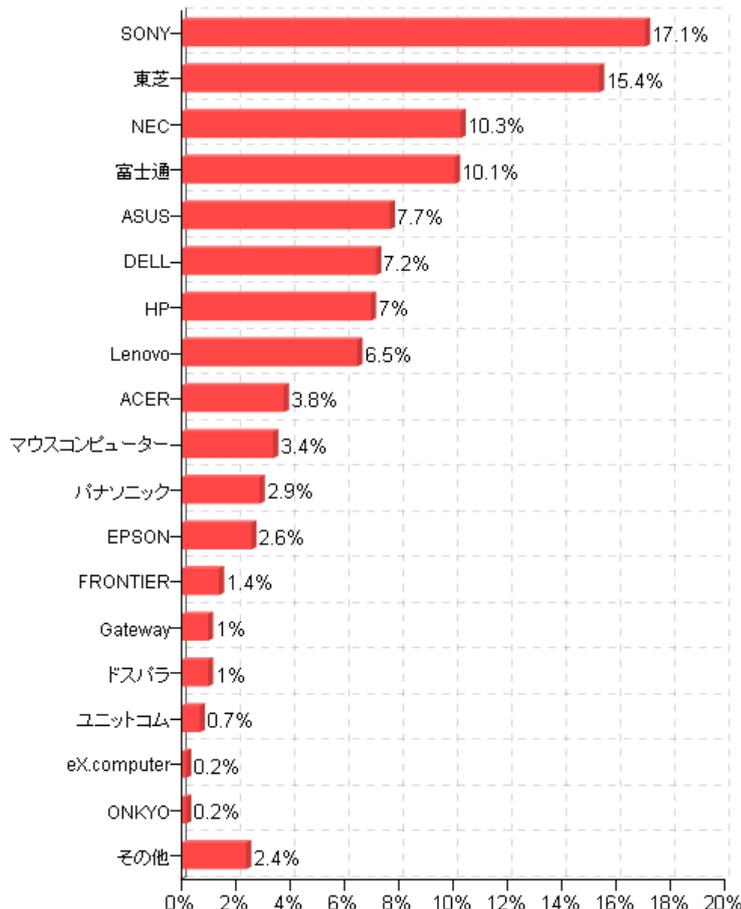


購入した搭載パソコンのメーカー：国内メーカー勢の健闘が目立つ

「Windows 8」搭載パソコン購入者に、購入したパソコンのメーカーを聞いた。結果はグラフの通りで、国内メーカー勢の健闘が目立つ。価格.com上では人気のある海外勢は、比較的割合が少ない。

「Windows 8」の登場に合わせてパソコンを購入した人は、安心感の高い国内メーカー製パソコンを選択する傾向が強いことがわかる。

【図 3. 購入したWindows 8 搭載パソコンのメーカー】



購入理由：「価格の安さ」(44.4%)がダントツ。「タッチパネルを利用したかった」は5.9%にとどまる

購入理由に関する最多回答は「価格が安かった」(44.4%)が圧倒的。前述のアップグレードキャンペーンが大きく影響しているものと思われる。「Windows 8」は、これまでのOSよりも、提供価格が大幅に引き下げられているが、この価格面でのメリットによって、かなり多くのユーザーが乗り換えを検討したことが読み取れる。

次に多かったのは、「常に最新のOSを使いたいから」(30.7%)、「処理が速そうだから」(25.9%)。こうした理由は、OSのアップグレード時には必ず一定数あるものだが、今回の「Windows 8」に関して、やはり処理面での速さを期待する向きは多かったようだ。

なお、「Windows 8」のもうひとつの特徴でもある「タッチ操作」については、あまり購入の理由になっておらず、「タッチパネルを利用したかった」という回答はわずか5.9%にとどまった。

■【購入した理由】グラフ：<http://kakaku.com/research/report/068/p02.html#m504>

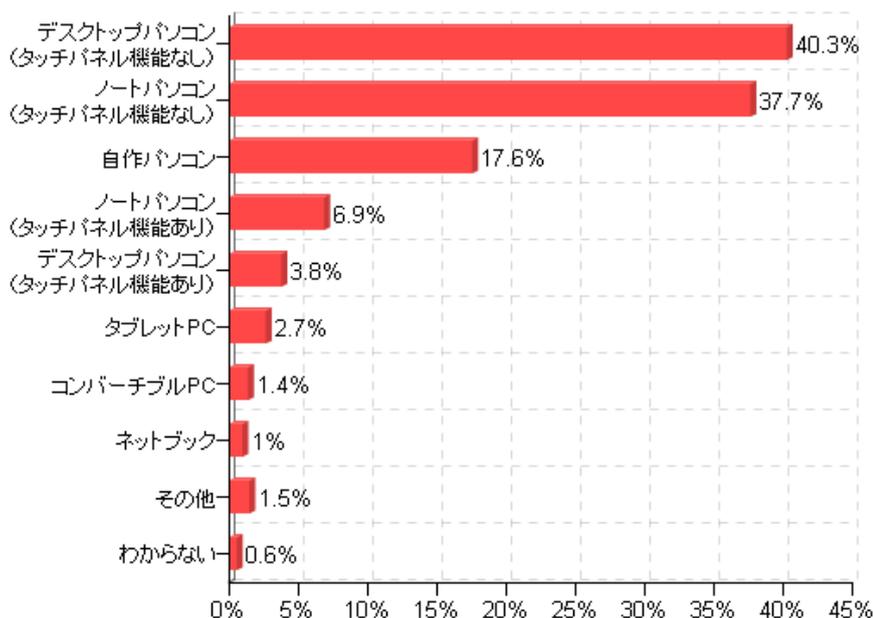
Windows 8 の利用パソコンのタイプ：タッチパネル無しのパソコンが8割近くを占める結果に

「Windows 8」あるいは搭載パソコンを購入した人に、どのような種類のパソコンで「Windows 8」を利用している(いた)かを聞いた。

最多回答は、「タッチパネル機能なしのデスクトップパソコン」。これに「タッチパネル機能なしのノートパソコン」が続く。これまでの結果とも合わせて考えると、この2つを回答したユーザーの多くは、「Windows 7」搭載パソコンからアップグレードしたユーザーだろう。また、「Windows 8」の発売を機に、新しくパソコンを購入したという層もここに含まれるが、こちらタッチパネル機能を搭載していないパソコンを選択している人がほとんどで、ユーザーの多くは、「Windows 8」のタッチパネル機能にそれほど重きを置いていないことが見て取れる。

逆に、「タッチパネル機能あり」のパソコンを購入したという人は、合計10.7%。これにタブレットPC、コンバーチブルPCを加えても14.8%と少数だ。「Windows 8」の特徴のひとつであるタッチパネル機能に関しては、まだ1~2割のユーザーにしか訴求できていないことがわかる。

【図4. Windows 8 を利用している、またはしていたパソコンのタイプ】



Windows 8 の満足度 : 「満足」は 45.2%、「不満」は 42.3%

「Windows 8」を購入した人を対象に、「Windows 8」の満足度を聞いた結果、「非常に満足」が 7.2%、「やや満足」が 38.0%と、「満足」の割合は合わせても 45.2%と半数に満たない。逆に「非常に不満」(14.8%)、「やや不満」(27.5%)の合計は 42.3%と、満足しているユーザーの数にほぼ匹敵する割合となっている。

なお、「Windows 7」調査結果における満足度は、「非常に満足」が 28.7%、「やや満足」が 46.2%で、「満足」の合計は 74.9%と、満足度はかなり高めだった。この結果に比べても、「Windows 8」の満足度は極端に低い。

■【Windows 8 に対する満足度】グラフ : <http://kakaku.com/research/report/068/p03.html#mds07>

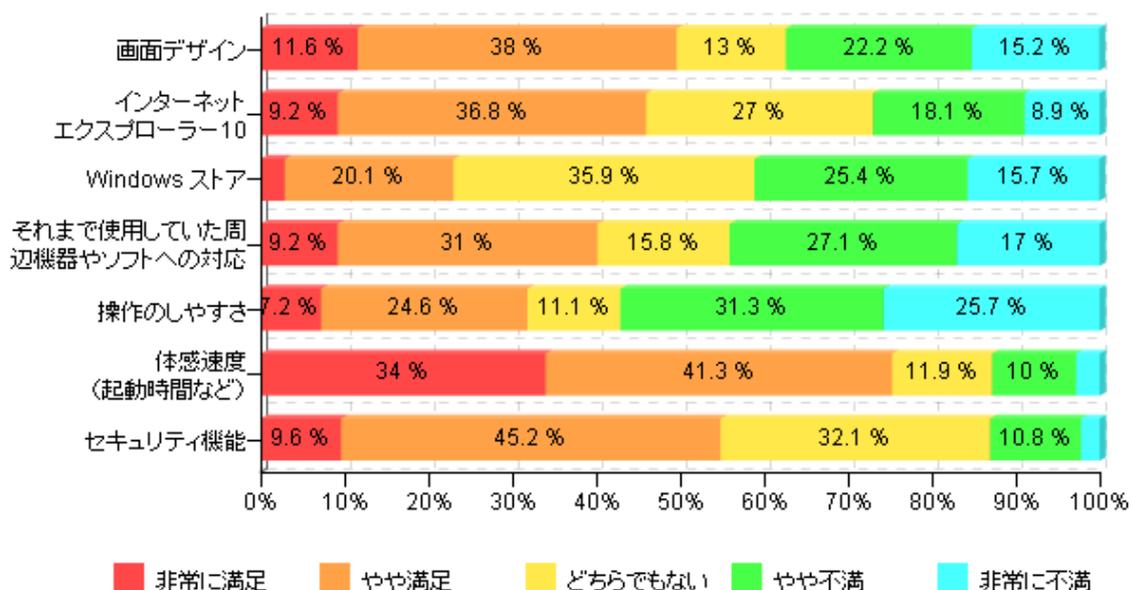
項目別満足度 : 「体感速度」には 75.3%が満足するも、「Windowsストア」「操作のしやすさ」に対する不満が目立つ結果に

「Windows 8」の満足度を項目別に表したのが、【図 5】だ。まず、比較的満足度の高い項目としては、「体感速度」があげられる。処理の軽さ、起動時間や復帰時間の短さは、多くの人が納得するところとなっているようだ。また、「セキュリティ機能」「画面デザイン」「インターネットエクスプローラー 10」の各項目も、半数程度の満足度を得ており、不満の割合は比較的少ないといえる。

逆に、比較的不満度が高い項目としては、「Windowsストア」「操作のしやすさ」など。特に「Windowsストア」に関しては、満足の合計が 23.0%しかなく、逆に不満の合計は 41.1%とかなり多い。これには、タッチパネル搭載パソコンのユーザー以外にはほぼメリットがなく、また、登録されているアプリ数がまだ限定的であることも大きく影響している。ハードウェアの制約もある程度仕方ない部分もあるが、問題は、「操作のしやすさ」「それまで使用していた周辺機器やソフトへの対応」という、OSの根本に関わる部分での不満が多いことである。

「Windows 8」に関する感想を記載してもらったフリーアンサーを合わせて見ると、特に「操作のしやすさ」に関しては、タッチ機能に特化した「Modern UI design」に対する批判に加えて、「Windows 7に比べて操作回数が多くなった」「アクセサリなどに含まれるプログラムを探すのが大変」「シャットダウンがしづらい」などの意見が寄せられている。なかには、従来の「スタートボタン」に代わるフリーアプリなどを導入して、「Windows 7」と同等の利便性を確保したというユーザーもいるなど、これまでのWindowsとはかなり異なったインターフェイスにとまどいを隠せないユーザーが多いようだ。

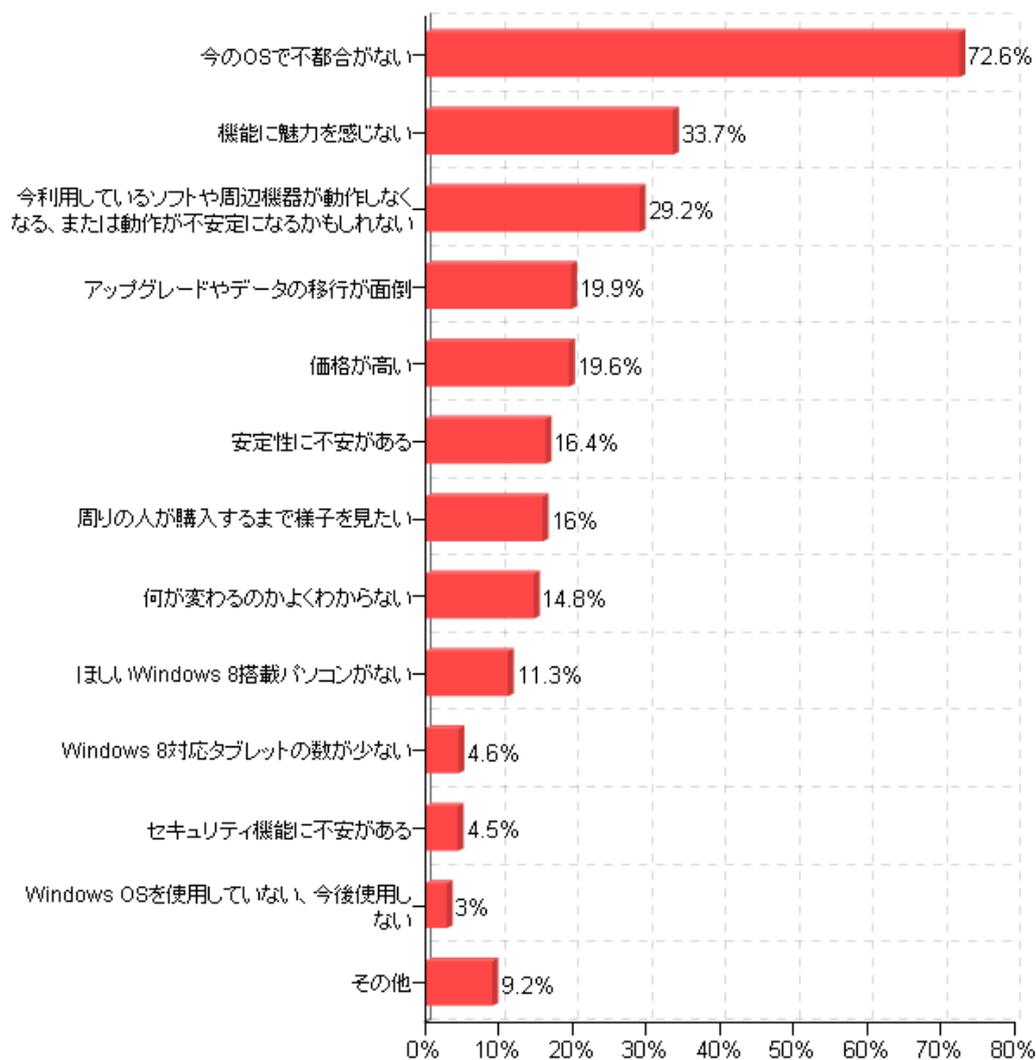
【図 5. Windows 8 の項目別満足度】



Window 8 の購入予定 : 「予定なし」(38.0%) が「予定あり」(29.1%) を上回る 購入しない理由は「今のOSで不都合がない」(72.6%) に、「機能に魅力を感じない」 (33.7%) が続く

「Windows 8」未購入者に、今後の購入予定を聞いた。結果としては、「購入する予定がある」(29.1%) に対し、「購入する予定はない」(38.0%) という回答が多いという結果になった。購入しない理由としては、「今のOSで不都合がない」が72.6%で最多となり、OSをアップグレードする必要性を感じていない人が多いことがわかる。また、「機能に魅力を感じない」、「今利用しているソフトや周辺機器が動作しなくなる、または動作が不安定になるかもしれない」といった理由も比較的多く、【図5】で見た不満点とも共通する理由から、導入を敬遠している人も多いことがわかった。

【図6. Window 8 を購入しない理由】



■ 【Window 8 の購入意向】 グラフ : <http://kakaku.com/research/report/068/p04.html#mds10>

総評(一部抜粋): 鎌田剛 カカコム メディアクリエイティブ部 部長

「Windows 8」の購入率は、発売から3か月弱の2013年1月段階で、22.9%。前OSの「Windows 7」の発売後調査では30%であったことを考えると、いささか少ない。また2割近い人が、「Windows 8」購入後、利用しなくなったと回答しており、購入後の利用率は8割程度。OSの満足度に関しても、「満足」45.2%に対して、「不満」は42.3%と、新OSとしては異例ともいえる低さだ。

満足度が低い理由の1つとしては、「Windows 8」の特徴「タブレットでも利用できるインターフェイス」が、従来のパソコンユーザーにあまりメリットをもたらしていないことだ。

「Windows 8」購入者のうち、タッチパネル搭載パソコンやタブレット端末の利用者は14.8%にすぎず、8割以上は、この新インターフェイスの恩恵をほぼ受けられずにいる。

それどころか、従来の「スタートボタン」を廃したインターフェイスにより、通常のデスクトップ画面がやや使いにくくなり、「Windowsストア」はもとより、操作性でも、満足度を大きく落としてしまった。また、「それまで使用していた周辺機器やソフトへの対応」という面でも、一部のソフトなどが動作しないという問題が報告されており、やや不安を残す結果となっている。

逆に「Windows 8」になって改善された点については満足度も高い。その代表として「体感速度」があげられる。従来OSと比べて動作の大幅な軽量化が実現されている点は、多くのユーザーの支持を得ており、これだけでも「Windows 8」を導入する価値があるとする人も多かった。

なお、今回「アップグレード版」購入者が半数以上を占めたが、これには、発売前後に実施されたアップグレードキャンペーンが寄与したものと思われ、安さが導入のハードルを下げた点は大きい。

ただ、「Windows 8」の未購入者に対し今後の購入意向を聞いた質問には、「予定なし」が、「予定あり」を上回るなど、先行きはあまり思わしくない状況だ。購入しない理由を見ると、やはり「Windows 8」ならではのメリットを見つけにくいことが大きな課題となっている。2013年のあまり遅くない時期に、「Windows 8」ならではのメリットを感じやすいタブレット端末や、タッチパネル搭載の魅力的なパソコン製品が登場することを期待したい。

※詳細結果、総評全文および過去のリサーチアーカイブは以下URLをご参照ください

<http://kakaku.com/research/backnumber.html>

【調査パネル】

調査エリア：全国 調査対象：価格.comID 登録ユーザー

調査方法：価格.com サイトでの Web アンケート調査

回答者数：6,457人 男女比率：男93.0%(平均47.2歳)：女7.0%(平均44.0歳)

調査期間：2013年1月15日～2013年1月21日

調査実施機関：株式会社カカコム

※四捨五入による端数処理のため、合計が100%にならないことがあります。

【価格.com サイトデータ】(2013年1月末現在)

月間利用者数4,408万人、月間ページビュー10億8,149万PV、累計クチコミ件数約1,500万件。

<利用者内訳>PC：3,212万人 スマートフォン：1,062万人 フィーチャーフォン：134万人

【報道に関するお問い合わせ先】

株式会社カカコム 広報室 内山・石橋・甲斐

e-mail: pr@kakaku.com Tel: 03-5725-4554

データの引用・転載時のクレジット表記について

本調査結果の引用・転載の際は、必ずクレジットを明記くださいますようお願い申し上げます。

クレジット表示例

- ・「価格.com リサーチ」調べ
- ・購買支援サイト「価格.com」が実施した調査によると…